

優勝おめでとう! 大和シルフィード



Sylphid

×
ガンニュース



雨の中、応援してくれたサポーターと喜ぶ選手たち(写真上)
FC十文字の結果を受け、藤巻監督を胴上げ(写真下)



ついに歓喜の時が来た。かつて「関ヶ原の合戦」が行われた9月15日。プレオフ第3戦。引分け以上で、なでしこ2部リーグの昇格圏内の2位以上が決まる大和シルフィードは、広島に2対1で勝利。優勝を争っていたFC十文字が引分けたため、チャレンジリーグの優勝を決め、昇格を決定的にした。2年続けてプレオフで苦杯をなめていたシルフィードにとって、3年越しの悲願達成となった。

※ ※ ※

試合開始前から降り続く雨の中、勝利を信じて集まった700人近いサポーターに対し、シルフィードの選手たちは、今シーズンを象徴するようなハードワークで応える。試合前から相手のWEST1位・広島をリスペクトしつつ、必ず勝つと話していた藤巻監督は「押し込まれるのは想定済み。我慢していれば必ずチャンスはくる」と冷静に分析していた。

藤巻の予想通り、相手の猛攻を凌いだ後の前半20分。左サイドを駆け上がったNo.8・大家梨緒の放ったシュートがそのままゴールに吸い込まれる。待望の先制点に、チームは一気に活気づく。10分後、No.18・市原理奈がゴール前で競り勝ち、2点目をもぎ取った。

しかし好事魔多し。2点差の勝利で十文字に大きなプレッシャーが与えられると思っていた後半のアディショナルタイム。残りワンプレーというところでまさかの失点。勝利したにも関わらず、選手たちはまるで負けた後のような悔しさをにじませた。それでもサポーターから「おめでとう」「よくやった」の声が飛び、選手たちは、気持ちを切り替え、感謝の言